

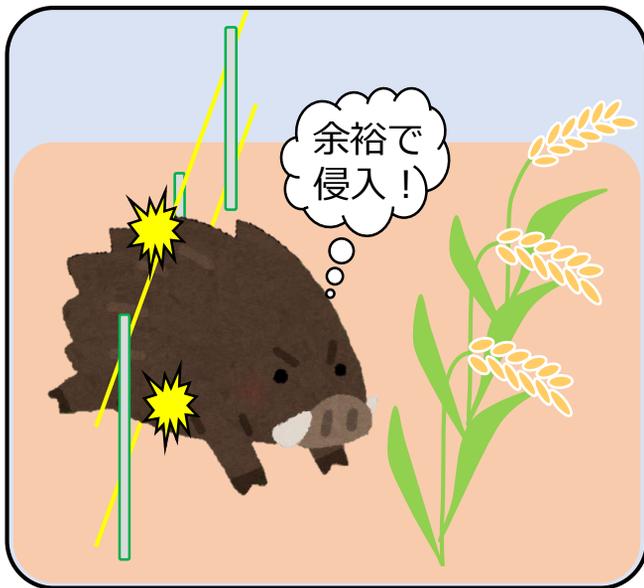
農繁期におけるイノシシの電気柵侵入への緊急侵入防止対策

1 取組の背景

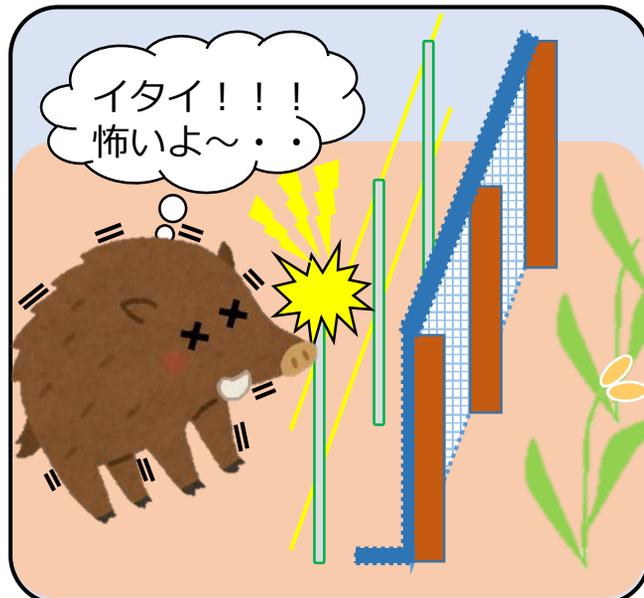
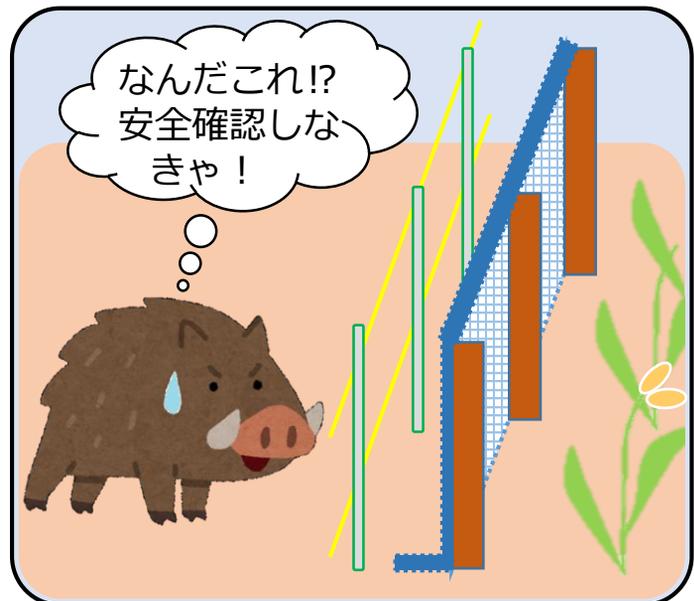
- 一般に、電気柵をしているにもかかわらず、農繁期にイノシシがほ場へ侵入した場合、電圧の点検や補修、電線の本数追加、電線の高さを下げる等の対策しかありません。しかし、電気柵に慣れてしまった個体に対して、これらの対策効果は限定的です。
- 今回、そのような対策でも侵入を止めることができないイノシシに対して、緊急的な侵入防止対策として、防風ネットを活用した対策を実証しました。

2 実証の狙い

- 電気柵は、イノシシの警戒行動（安全確認のために鼻で触る）を利用して、敏感な鼻に電流を流し、侵入を防止する防護柵である。
- しかし、「電気柵は怖くない」と認識した個体は、警戒行動を取らずに侵入してしまう。その際、身体に電気柵が当たっても、分厚い皮膚により防護効果は発揮されない。
- そこで、侵入及び被害確認後、電気柵の内側に防風ネットを設置することで、再び警戒行動を取らせて敏感な鼻に電流を流し、電気柵への恐怖心を復活させることを目指した。



警戒心を復活させるために防風ネットを設置！



再び警戒行動を取ることで電気柵に鼻で触れ、恐怖心を復活！

